

各位

上場会社名	養命酒製造株式会社
代表者	代表取締役社長 塩澤 太朗
(コード番号)	2540)
問合せ先責任者	取締役総務部長 田中 英雄
(TEL)	03-3462-8138)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年7月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,770	310	430	280	9.32
今回発表予想(B)	5,780	110	250	150	4.99
増減額(B-A)	△990	△200	△180	△130	
増減率(%)	△14.6	△64.5	△41.9	△46.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	6,094	1,119	1,260	752	23.80

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,210	1,060	1,270	790	26.29
今回発表予想(B)	12,000	710	940	570	18.97
増減額(B-A)	△1,210	△350	△330	△220	
増減率(%)	△9.2	△33.0	△26.0	△27.8	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	12,323	1,607	1,838	1,071	34.47

修正の理由

(1)第2四半期累計期間の業績予想

主力商品「養命酒」につきましては、薬味酒「養命酒」の販売終了に伴い「薬用 養命酒」のブランド強化と効率的な広告の実施に取り組みましたが、健康関連商品の業種業態を越えた企業間競争が激化する中、売上高は予想を下回る見込みとなりました。また、平成22年3月発売の新商品「ハーブの恵み」に経営資源を集中し、テレビスポット広告を始めとする商品認知を高めるための各施策を積極的に実施するとともに、平成22年4月下旬開業の健康生活提案型複合施設「くらすわ」の集客に努めましたが、個人消費の低迷や、生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続く中、予想通りの売上の確保は難しく、第2四半期累計期間の売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は既公表値に対して990百万円減の5,780百万円、利益面につきましては、新商品告知に必要な販売促進費用を計画通りに投入する一方、経費節減に努めましたが、営業利益は200百万円減の110百万円、経常利益は180百万円減の250百万円、四半期純利益は130百万円減の150百万円となる見込みであります。

(2)通期の業績予想

第3四半期以降につきましては、「薬用 養命酒」の更なる効率的な販売促進活動の推進、新商品「ハーブの恵み」の試飲会の開催やサンプルプレゼントキャンペーン等による新たなユーザーの獲得、また、「くらすわ」については、更なる周知を図ることによる顧客の獲得・物販における取扱商品の見直し・オリジナル商品の販売チャネルの拡充に努める一方、経費節減に努めてまいります。通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の進捗状況を踏まえ、売上高は既公表値に対して1,210百万円減の12,000百万円、営業利益は350百万円減の710百万円、経常利益は330百万円減の940百万円、当期純利益は220百万円減の570百万円となる見込みであります。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上